

第2回グリーンバレー神室検討委員会

日 時：令和3年12月27日(月) 午後2時～
場 所：金山町役場町民ホール 進行：関係長
欠 席：柿崎尚弥（森林組合青年部）
渡部雅人（もがみ北部商工会青年部）

1 開 会

2 挨 拶

- ・委員長あいさつ
- ・町長あいさつ

3 協 議 （座長：斉藤委員長）

(1) パターン別一般会計財政中期計画（令和3年12月現在）【事業内容別試算】

説明者：庄司総合政策課長

資料1 一般会計財政中期計画 資料2 財源不足調整対象事業

◎財政計画策定におけるポイント

1. 人口減少 5200人→4200人 10%の人口減少 少子高齢化
新型コロナの影響 スキー客の大幅な減少
2. 地方交付税 20億→今後地方交付税の減少
コロナの影響が長期化、異常気象等による大きな災害
3. 社会保障費の増大、介護保険料の増大
大規模事業（基盤整備事業・金山中学校の大規模改修）
4. 公共下水道及び農業集落排水の更新
5. グリーンバレーの施設をすべて廃止したとしても、町が行っているすべてのサービスを継続した場合は基金、町の貯金がなくなり町財政の赤字化が想定されている。町財政の赤字は財政再建団体一步手前で、ありえないことと考えている。町民サービスの低下を抑えながらも、持続可能な財政計画を作成できる状況にする必要がある。
6. グリーンバレーにかかる経費を現状の1億円弱から3,000万円以下に抑えないと、新たな事業やサービスは実施できないと考えている。グリーンバレーの見直しと、財源不足調整対象の事業を見直しを併せて実施し、取捨選択が必要となっている。

(2) グリーンバレー神室の今後の方針について

・町の案 説明者：中村補佐

資料3 グリーンバレー各施設の収支均衡の試算

資料4 グリーンバレー神室の今後の方針について（案）

◎方針案についてのポイント

1. 収支均衡の試算については、コロナ以前に収入が回復した前提で、どの程度収入が増加すると黒字化が可能か試算した。実際には経費も増えるので参考として示した。
2. 今後の方針については、議論を活性化させるために、案を出させていただいた。町としてこの方針を進めることを決定したということではなく、財政シミュレーションを踏まえた上で、こういうパターンだとこのような対応が想定されるということを示したもので、委員からの意見により変更や新たな案も当然あり得るもの。
3. B 案は、温泉施設の改修経費を抑えた上で、経営改善をしつつ、すべての施設を継続するもの。町の負担は毎年9千万円を見込んでおり、令和10年には基金がなくなってしまう試算。温泉施設は大きな地震などで倒壊のリスクがあるとの報告も受けており、少しでも延命を図るもの。グリーンバレー以外のソフト事業等を大幅に削減できなかつたりグリーンバレーの経営改善ができないと令和7年頃には多くのソフト事業等を停止し、グリーンバレーには民間で運営いただくことを検討する。
4. B'案は、B 案のうちスキー場の民間運営を最初から検討し、令和5年には町での運営を停止するもの。B案の9千万円に対して町の負担は7千万円に下がる。
5. E 案は、ホテルとレストランを現行どおり継続した上で、キャンプ場や広場の運営もホテルが一体的に行う。他の施設は民間での経営を模索し、受け手がない場合は廃止するもの。E 案では、グリーンバレー関連の町負担が3,000万円を超えた場合は運営を停止し、民間での運営を検討する。

・井上委員提案 資料5 井上委員提案資料

◎金山町営業力強化プロジェクト

食や体験の質を高め、感動満足を得れるものを付加価値として提供していく

「いわなや」はあと3年くらいで後継者がいない場合廃業する方向

事業継承には大体2年程度の期間必要

→後継者に地域おこし協力隊を活用できないか。

鮭川村の地域おこし協力隊（今年度で終了）から協力してもらいながら、水産関係に興味関心がある人を探したい。

鈴木協力隊同様に社会福祉法人への研修派遣を想定。

街中の釣り堀→いろんな飲食店での商品開発

ニジサクラ（ニジマス×サクラマス）：山形で開発したオリジナル魚種
県では養殖先を探しており「いわなや」へアプローチ
→新型コロナの影響もあり難しい
後継者による「にじさくら」の養殖及び活用へチャレンジ
川上の金山町から鮭川村、酒田市が魚を通じつながらる事業にできれば
民間へのチャレンジを促す意味で、新たな指定管理者を募集する必要性もあるの
ではないか
例）ゆめりあの指定管理：東北情報センター → JPD×物産館
町の提案（B'案を想定）について
→民間活用し3年間でチャレンジすることが必要ではないか
街なかでの馬車運行にもチャレンジしたい
ホテルの宿泊単価が安い、客単価を体験等の付加価値を加え、宿泊者数が減って
も単価を上げ売上げを確保する必要性。

（３） 関連資料について

（４） 意見交換

齊藤委員長：町の方向性が決まっているわけではないということで良いか。

温泉の改修経費2億円の根拠はどこにあるか。

事務局：根拠はない。あくまでつかみの数字での暫定金額。

近岡委員：今回から参加で内容をまだ深く知らないが、ホテルは町のためにも残す方向で
ぜひ考えていきたい。スキー場と温泉は費用がかかる、利用者の減少を踏まえ
ると止めるのもやむを得ない。民営へ移譲する方向で。ただ、温泉がないと
宿泊施設の集客力が落ちることが考えられるため大浴場は必要。ホテルだけは
残してほしい理由としては、海外のような景観が良い建築であり、最上の四季
を味わうことができる。町に宿泊施設があれば、帰省客の居場所になり得るし、
宿泊先として子供や奥さん等が金山の魅力を再認識できる。そこから周りの人
への波及効果。子供たちや孫たちが戻ってくるためにも宿泊拠点は残すべき。
みんなの意見を結集して、既存のものを有効活用し、新しいものは作らない。
他でもやっているグランピングよりもホテルの中にテラスを作って星空を見な
がら食事するなど既存のものを活かしたプラン。レストランの質を高め、入っ
ただけで綺麗と思えるレストランと宿の魅力になる食が重要。例えば現実的で
はないかもしれないが、町の料理屋さんが交代で食事を出したり、町内のラー
メン屋さんによる夜食ラーメンなどの提供等。一番大事なのが遊び。アクティ
ビティやエクスカッション、体験の充実。例えば町並み散策、金山杉のツアー、
鳥海山や酒田鶴岡に日帰りツアーを組んでみるとか。金山の自然、景観、街を
案内できる人たちや羽場の公園や大堰を活かしたもの。金山の町内ツアー。シ

ェーネスハイム宿泊者が体感・体験できるツアー等。シェーネスハイムの建物を残して継続する。他の事業は無理はせずに可能な範囲で継続し、無理なら諦める必要がある。

齊藤委員長：D'案で改修コストを下げつつ、運営していくプランということでもいいか。

近岡委員：はい。なお温泉施設に倒壊リスクがあるのであれば、延命措置をして事故があったらたいへん。早急に判断する必要がある。

中村委員：井上委員からいただいた案は、実施内容によって現実的にやっていけるのではないか。町の方針ではBやB'よりもE案が現実的ではないかと感じた。温泉は倒壊リスク、スキー場の収益化が難しいことも考えると民間で受けるところがなければ廃止する方向でいいのではないか。ただ、高規格道路の延伸を考慮することも大事なので、個人的には判断を高規格道路が延伸されるまで、施設更新の必要性を考慮しながら可能なら待ったほうがいいのではないか。県内ほとんどの自治体に温泉があることを考えると、温泉がなくなることを町民に理解してもらうにはなかなか難しい場合もあるのではないか。例えば、高速のインター付近に温泉を道の駅に併設するなど。神室一体から町全体を考えた観光施策が必要。

柴田委員：いろいろな町民の方と神室のことについて意見交換した。財政状況もわからないわけではない。近岡さん、井上先生、中村議員の意見を踏まえ、もう少し努力することが必要。財政健全化を図りながら地域活性化を図る必要がある。観光面で目玉。試算すれば難しい部分があるが、プラスαを考え、3、4年間努力していくのがいいのではないかと考える。

矢口委員：高規格道路開通が決定し、R4には昭和まで開通することに町民は期待している。検討委員は各組織の代表としてきていることから町民の意見として捉えている。井上先生の提案も参考になり、課題も理解できた。今後、新型コロナ対策も進んでおりもう少しすると落ち着くのではないかと期待している。財政状況も非常に厳しい。温泉の延命は難しい。できるだけ修繕をして延命しつつ、現状維持ができないかと個人的には思っている。仕組み作りが重要。ふるさと納税などの活用について次回先生から聞きたい。

早坂委員：いろいろ検討しながら、前向きに実施していったほしい。観光はやはり水物で、自治体で大規模なリゾート開発運営してうまくいっているところはほとんどない。財政破綻した夕張や現在非常に厳しい京都などもある。財政健全化が失敗すると町民への齎寄せがくる。人それぞれ希望があり、残してほしいという気持ちもわかる。ホテルや温泉の対応に様々なアイデアを入れつつも、財政健全化にしっかり取り組む。希望は希望としつつ、財政破綻しないため勇気ある判断が必要。

寒河江議員：神室の現状を見るとダメなものはダメだと感じる。ホテルやスキー場など金山町民と一緒に観光の目玉として作ってきたものであるため残念。中央公民館の取り壊し等もふくめ、明るい話題がないなか、町として今後何がメインになり、

取り組んでいくための新たな光が必要。第三セクターで黒字になることは難しい。12/24 取締役会や井上委員の意見を踏まえ、できるだけ早い判断を。老若男女から意見の吸い上げを丁寧をお願いしたい。

星川委員：観光という視点では昨今街並み景観やライトアップを通して金山町の観光を県内外に発信している。付随してこれから GV 神室一体とタイアップした事業をしていかなければと考えている。厳しいコロナの状況でも観光客は来てくれている。ホテルを中心に残す方向で考えてほしい。リゾート地には温泉がないと誘客が難しくなる。ホテルの敷地内に大浴場を組むことを検討いただき、施設を有効活用していく方向で検討してほしい。

岸委員：スキークラブで毎日スキー場を利用するくらい、スキーが好きなので継続してもらいたい気持ちではある。しかしスキー場への客が年々減っているのがわかる。実際に各地でスキー場をやめている。例えば青森の大鰐町でも開発等したが破綻した。無理をするには限界がある。ホテルは残してほしいと思う。温泉建て替えは財政的に難しいだろう。

矢作委員：ホテルがなくなると、あちこちからきた人が泊まれないデメリット。温泉は直したとしてもあまり費用をかけず、今ある施設を活用する方向で検討してほしい。

須賀委員：GV 神室の開発を最初担当していた。今日の資料を見て、町職員も良い資料をまとめてくれた。井上先生の資料も然り。そのまま行くべきものもあるだろうし、委託や廃止する考え方もあるだろう。地域事情を踏まえ、検討案を今後どうすればよいかを議会と検討し、やっていくことが大切。最初担当していたこともあり様々思うところがあるが、課題を改善し新しい取り組みにチャレンジするために、今は考え直す良い時期である。時代に併せてやっていかなければならない。町がどこに向かうのか、行政と議会で率直に現状を見て検討してほしい。

矢口委員：6億2千万もの費用をかけず、悪化している部分を修繕してホテルと温泉を継続してほしい、ホースセラピーは良い事業。ホテルの周りを最大限に利用し、誘客できるようなイベントをすればもっと人を呼べると思う。

大山委員：地域の自衛消防隊や婦人会、町連合婦人会の理事会でも話をした。高校生の模擬議会も傍聴した。金山町ではがっこそばの焼失、中央公民館の解体、そこに神室もなくなったら金山に希望を持って暮らす人たちがいなくなるのではないか。財政難はわかるが、できれば規模を小さくてもホテルと温泉も残してほしい。温泉療法などで集客を上げるなどの取り組みなどもやっていけば。

西塚支配人：みなさんからホテルについて色々教えていただきありがたい。ホテルとして温泉は必要。温泉がなくなると宿泊者が大きく減少することが想定される。現在、本間設計さんに設計をお願いしている。ただし、他の設計会社さんにも見てもらい再度コスト等について検討したらどうか。対象となる設計会社としては町内、県内、東北内など範囲を広げて。また、安全性が一番大事で建て替えが難しい場合は修繕

となるが、修繕に必要な経費を保険の補償など使ってできないかと考えている。クラウドファンディングなどの寄付で資金を調達。リターンは各種温泉の特典。現在、ホテル、温泉、レストランで働いている28名の雇用。この方々が廃止になった場合に失業することについても検討いただきたい。

佐藤町長：今回の提案させていただいた案は、これまでの経過と今後の見通しをデータを基にできるだけ客観的にまとめたものである。議会や公社の取締役会で相談させていただいた中で、一帯の全面廃止などの案も当初はあったが、なかなか厳しい部分がある。さらにソフトランディングでの方向性も示させていただいた。もう少しまとめられるか検討していきたい。また、町民の皆さんへの情報発信としてホームページで資料開示を行っているが、発信はまだ弱いと考えられるため、町民向けの説明会を2月中に地域ごとに中間報告の場、意見を頂く場を実施したいと考えている。

年度末までに、あと1、2回開催して、案をまとめられるように。様々な意見を吟味していきたい。

神室の事業を実施していくためには、町民に直接関わる町民サービスが著しく低下することがある可能性もあることを説明したうえで、町民サービスを著しく低下させないため、神室の案を絞り込み吟味する材料にしていければと思う。西塚支配人からあったが、本間設計に新しく建てた場合の見積もりが6億2000万という金額になったが難しいと思う。個人的にはまだまだもちそうな部分もあるように感じるが、実際に専門家に見ていただき、一部改修を2億でしてもらうところも探していく必要がある。

庄司政策課長：A案をした場合、R9から赤字になる可能性があることから、R4から支障がでてくる可能性がある。これまで、財政健全化にむけ、中央公民館改築取りやめや大規模事業や町全ての事業見直しを行ってきた。これらの取組で財源不足を2億円まで圧縮できた。基金は現在15億。県内でも基金の金額は低い方。R3-4交付税は手厚かったが、R7以降は減少額が大きくなると想定される。

4 その他

井上委員：R5に新たな指定管理者の公募の可能性があるかを示してほしい。また、公募ができない場合、できない理由も示してほしい。